

巻頭言	新潟大学大学院消化器内科学	寺井 崇二
1. 治療介入		
(1) ウイルス性肝硬変の治療 (HCV, HBV)	大阪大学消化器内科学	田畑 優貴, 竹原 徹郎
(2) MASH 由来肝硬変とアルコール性肝硬変症の治療の違い	順天堂大学消化器内科学	池嶋 健一
(3) 栄養療法	愛媛大学消化器・内分泌・代謝内科学	徳本 良雄, 日浅 陽一
(4) サルコペニアと肝臓リハビリテーション	久留米大学リハビリテーションセンター	橋田 竜騎, 川口 巧 他
(5) 高齢者の肝硬変の治療介入の注意点	埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科	名越 澄子
(6) 肝硬変に対する移植治療 —適応, 治療の現状, 今後	東京大学医学部附属病院人工臓器・移植外科	斐 成寛, 長谷川 潔 他
2. 合併症の治療と対策		
(1) 合併症 (脳症・腹水など) の管理 —薬物療法を中心に	岐阜大学消化器内科学	宇野女慎二, 清水 雅仁 他
(2) 合併症 (食道胃静脈瘤など) の管理 —内視鏡・IVR を中心に	山口大学消化器内科学	石川 剛, 高見 太郎
(3) 門脈血栓症と血小板減少症の病態と治療	北里大学消化器内科学	日高 央 他
(4) 臓器相関 (肝肺相関)	日本医科大学付属病院消化器肝臓内科	厚川 正則
3. 次世代治療, 技術の可能性		
(1) 肝線維化改善, 再生療法 —線維化治療剤の開発状況を踏まえて	新潟大学消化器内科学	阿部 寛幸, 寺井 崇二
(2) 肝発癌予防薬の可能性	三重大学消化器内科学	藤原 直人, 中川 勇人